

IV 財政収支の見通し

1. 配水計画

これまで増加基調で推移してきた給水人口は、本計画期間中に減少に転じることが予想されます。配水量、有収水量については、引き続き、減少傾向が続くことが見込まれます。

項目	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
給水人口 (人)		1,015,300	1,016,100	1,016,300	1,015,900	1,015,200	1,014,000
一日平均配水量 (m ³ /日)		334,070	332,570	331,600	330,600	329,300	327,560
一日最大配水量 (m ³ /日)		373,452	371,600	370,500	369,400	367,900	366,000
年間総配水量 (m ³)		121,935,550	121,388,050	121,365,600	120,669,000	120,194,500	119,559,400
年間有収水量 (m ³)		113,208,400	112,934,650	112,819,500	112,197,350	111,781,250	111,332,300

2. 財政収支計画

水需要の減少に伴う給水収益の減少をはじめ、本計画期間を通じた事業収入は引き続き減少傾向が続くことが見込まれます。一方、老朽施設の更新、耐震化などの事業にさらに力を入れていく必要があることから、建設改良費をはじめとする事業費は増加が見込まれます。

こうした事業費の増加に対しては、さらなる経営効率化の推進や、平成22年度より用水供給料金が値下げ改定される宮城県仙南・仙塩広域水道に対する受水費負担の軽減効果なども活用しながら財源を確保し、対応していきます。

また、建設改良事業の財源としての企業債*の借り入れについては、引き続き抑制に努め、財務体質の強化を図りながら事業を推進していきます。

(単位:百万円)

区分	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
収 入 的 収 支	収 入	給水収益	24,968	24,800	24,761	24,611	24,507	24,394
		水道加入金	784	751	751	751	751	751
		他会計補助金	394	448	424	411	397	384
		その他	1,128	1,041	1,030	1,005	983	969
		計	27,274	27,040	26,966	26,778	26,638	26,498
	支 出	人件費	3,795	3,871	3,789	3,699	3,689	3,737
		物件費	5,419	5,535	5,474	5,418	5,367	5,292
		受水費	7,547	7,077	7,058	7,037	7,039	7,010
		減価償却費	7,077	7,164	7,298	7,431	7,525	7,565
		支払利息	2,220	2,085	2,010	1,979	1,930	1,877
		その他	929	717	646	661	667	694
		計	26,987	26,449	26,275	26,225	26,217	26,175
		当年度純損益(税込み)	287	591	691	553	421	323
		当年度純損益(税抜き)	80	271	347	232	111	42
	累積欠損金*	3,387	3,116	2,769	2,537	2,426	2,384	

(単位:百万円)

区分		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債	6,006	3,300	4,589	3,890	3,750	3,430
		出 資 金	618	434	436	391	384	405
		国 庫 補 助 金	443	0	0	0	0	0
		そ の 他	673	419	428	375	315	260
	計		7,740	4,153	5,453	4,656	4,449	4,095
	支 出	建 設 改 良 費	8,029	7,451	8,177	7,779	7,500	6,859
		企 業 債 償 還 金	7,988	5,387	5,508	5,556	5,193	5,366
		そ の 他	0	130	183	0	0	0
		計	16,017	12,968	13,868	13,335	12,693	12,225
	収 支 差 額		△ 8,277	△ 8,815	△ 8,415	△ 8,679	△ 8,244	△ 8,130
補 て ん 財 源		9,813	9,552	8,993	8,822	8,347	8,250	
累 積 資 金 剰 余 額		1,536	737	578	143	103	120	
企 業 債 残 高		83,226	81,139	80,220	78,554	77,111	75,175	

※ 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純利益（税抜き）、累積欠損金、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ 平成21年度の資本的収支は、地方公営企業法第26条の規定による平成20年度からの繰越額を含む額である。

※ 前中期経営計画期間（平成17年度～平成21年度）の5年間の建設改良費の決算額（平成21年度は決算見込額）が28,722百万円（年平均5,744百万円）であるのに対し、本計画期間（平成22年度～平成26年度）の建設改良費の計画額は37,766百万円（年平均7,553百万円）。

3. 経営効率化の取り組み

これまでも水道局では、水需要の減少に伴い給水収益が減少する一方で、拡張事業期に借り入れた企業債の元利償還などの負担が増加する厳しい財政状況の中、現行の水道料金水準を維持しながら施設更新や災害対策などを着実に推進していくため、徹底した経営の効率化に努めてきました。

今後、企業債の元利償還などの負担は軽減されていく見込みですが、水需要が引き続き減少する中で、施設更新や災害対策などの事業費は増加する見込みであり、さらなる経営の効率化を推進していく必要があります。

本計画期間においても、引き続き次のような経営効率化策に取り組んでいきます。

- ・ 浄水場運転管理業務の効率化【56ページ 事業番号39 ① 参照】
- ・ 給水装置関連業務の第三者委託【56ページ 事業番号39 ② 参照】
- ・ （仮称）水道修繕受付センターの設置【47ページ 事業番号30 ① 参照】
- ・ 断水・洗管業務の見直し【56ページ 事業番号39 ③ 参照】
- ・ 公共事業総合コスト構造の改善【57ページ 事業番号40 参照】
- ・ 資産の活用・処分【58ページ 事業番号42 参照】